第9次行政改革大綱 (R3~R6) の総括について

【結論】

第9次行政改革大綱(以下、9次行革)の実施期間が終了したため、大綱の総括について報告する。

1 概要

(1)事業の取組状況(全 55 項目)

	3つの柱				
	公共施設等	業務カイゼン	人財·組織	合計	
① 完了	7	9	7	23	
② 取組中(完了が見込まれるもの)	3	1	2	6	
③ 一定程度取り組み次の段階に進めるもの	4	6	2	12	
④ 検討終了	0	4	0	4	
⑤ 小計(完了・進捗状況が評価でき るもの(①~④の計))	14	20	11	45	-46 J
⑥ 取り組みが不十分なもの	0	1	0	1	J ₅₅
⑦ 総計事業として整理したもの	4	2	3	9	

- ▶ 期間中に完了した事業が23事業、完了が見込まれる事業が6事業、一定程度取組み次の段階に進める事業が12事業、検討終了事業が4事業の合計45事業(完了・進捗状況が評価できるもの:97.8%(45/46))となった。
- ▶ 一定程度取組み次の段階に進める事業については、引き続き取組みを強化、推進していく。
- ▶ 施設使用料などの収納のキャッシュレス化については、調査研究に留まっており、第 10 次行革 大綱で加速化していく。

(2)令和6年度の経費削減の成果

(単位:千円)

累計目標額	R3~5 年度累計 令和6年度		合計	目標達成率
△ 180,000	△ 68,384	△ 60 , 840	△ 129,224	71.8%

目標未達の主な要因

No.30 市単独福祉医療給付事業に係る対象者の見直し(所得制限等)について、対象団体・対象者との交渉の結果、9次行革策定時に想定していたよりも削減対象を縮小したため

【令和6年度削減内容】

No.	事業名	担当課	削減額(千円)	内容
2	笠原中央公民館の交流セ ンター化	文化スポーツ課 /子ども支援課 (こども家庭課)	∆8,699	笠原中央公民館と笠原児童館 の機能統合(1年目)

No.	事業名	担当課	削減額(千円)	内容
8	発達支援センター「なかよ し」と「ひまわり」の統合方 針策定	子ども支援課 (こども家庭課)	△22,624	発達支援センターなかよし・ひ まわりの統合(1 年目)
16	道路照明灯のLED化	道路河川課	△21,440	1,545 灯LED化(R3) 電気料金削減
17	公園等照明灯のLED化	緑化公園課	△4,671	713 灯LED化(R3~5) 電気料金削減
24	地区事務所体制の見直し	市民課	△2,791	共栄事務所廃止(R3) 高田 郵便局との委託契約見直し
30	市単独福祉医療給付事業 に係る対象者の見直し(所 得制限等)	保険年金課	△615	65歳以上の受給者に対し、本 人所得のみ所得制限を設定

(3)経費削減以外の成果

- / .1 - 2	目的がルスプトレプルス 木		
No.	事業名	担当課	内容
1	養正公民館と坂上児童館 の機能統合	文化スポーツ課 /子ども支援課 (こども家庭課)	公共施設のスリム化 (公民館に児童館機能を統合した「養正交流センター」を整備)
5	食育センター完成後の旧 調理場等の跡地(建物)活 用の検討	食育推進課	建物付き公売を実施し、所有権移転を完了 (旧大畑調理場、旧食器洗浄センター)
22	市有地・公共施設の有効活用による収入確保	財政課	ネーミングライツ事業による命名権料を施設運営費等に活用 (文化会館、総合体育館、学習館、歩道橋、多治見運動公園※)
39	市への納付金のスマホ決 済導入	税務課	スマホ決済アプリによる市税等納付への対応 (市民税、国民健康保険料、水道料金等)
47	状況等を見据えた組織の 見直し	企画防災課 (企画政策課)	喫緊の課題及び法改正への対応、さらに第8次総合計画の着実な実行・実現、時勢の変化を反映する組織として、機構改革を実施
49	空き家事務の効率化	都市政策課 /企画防災課 (企画政策課)	空き家関連事業の窓口を都市政策課に一元化 し、事務を効率化 (現在は建築住宅課に事務事業を移管)

[※] 多治見運動公園(星ケ台運動公園) · ・・・ 令和7年6月1日より「TYKスポーツパーク 多治見」の愛称を使用開始。